

報道関係各位

2022年5月11日
株式会社クロス・マーケティング

戸建てより集合住宅で「湿度が気になる」 部屋干しやにおいて「湿度」を実感

－湿度に関する調査（2022年）－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「湿度に関する調査（2022年）」を実施しました。梅雨入りを前に、人々の湿度に対する意識、実態はどのようになっているのでしょうか。今回は「普段、自宅の湿度をどの程度気にしているか」「自宅の湿度の高さを実感する瞬間」「部屋の湿度を下げるためにしていること」などを聴取しました。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220511humidity/>

■調査結果

✓ 自宅の湿度について「気にしている」「気にしていない」が拮抗。〈図1〉

自宅の湿度について、「とても気にしている」のは1割。「なんとなく気にしている」は4割。

性年代で見ると特に女性30代、50代で高い傾向。一方男性は20代・30代で「気にしていない・計」が高い。住居形態でみると、集合住宅で一軒家に比べ「気にしている・計」が高く、1階居住者では「気にしている・計」が62.0%と顕著。〈図2〉

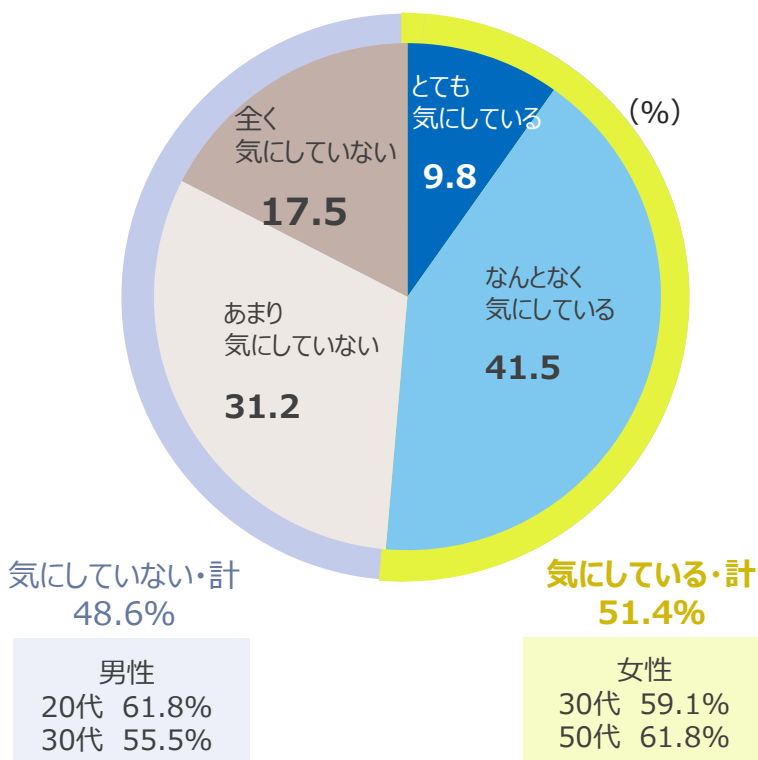
✓ 自宅で湿度を感じる瞬間は、「部屋干しの洗濯物の乾きが悪い」が28.4%で最も高い。〈図3〉

次いで「部屋のにおいが気になる」「床や畳がべたべたする」「髪がうねる・まとまらない」「手や肌がべたつく気がする」が2割台。湿度を気にしている人では「湿度計が高い値を指している」が2番手と、実測値を確認している様子がかがえる。

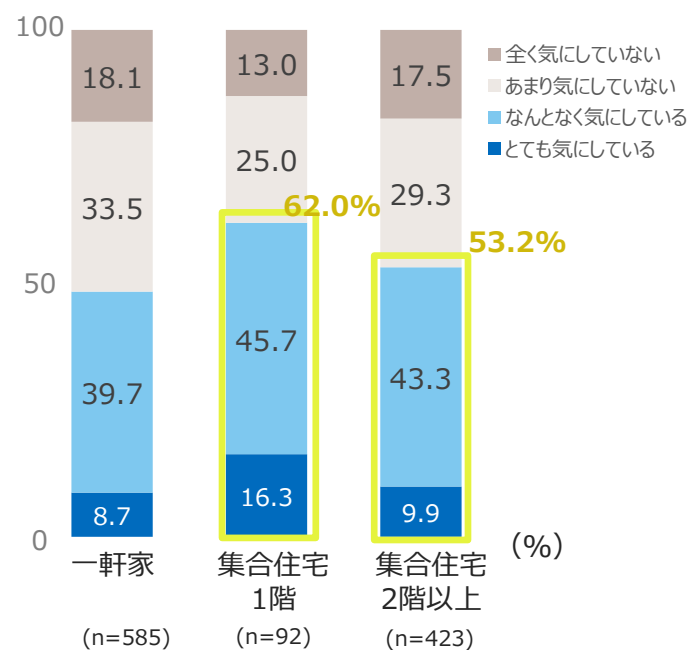
✓ 部屋の湿度を下げるためにしていることは「窓を開けて空気を入れ替える」が4割と突出。〈図4〉

他には「エアコンの除湿機能を使う」「換気扇をまわす」が2割台で上位。

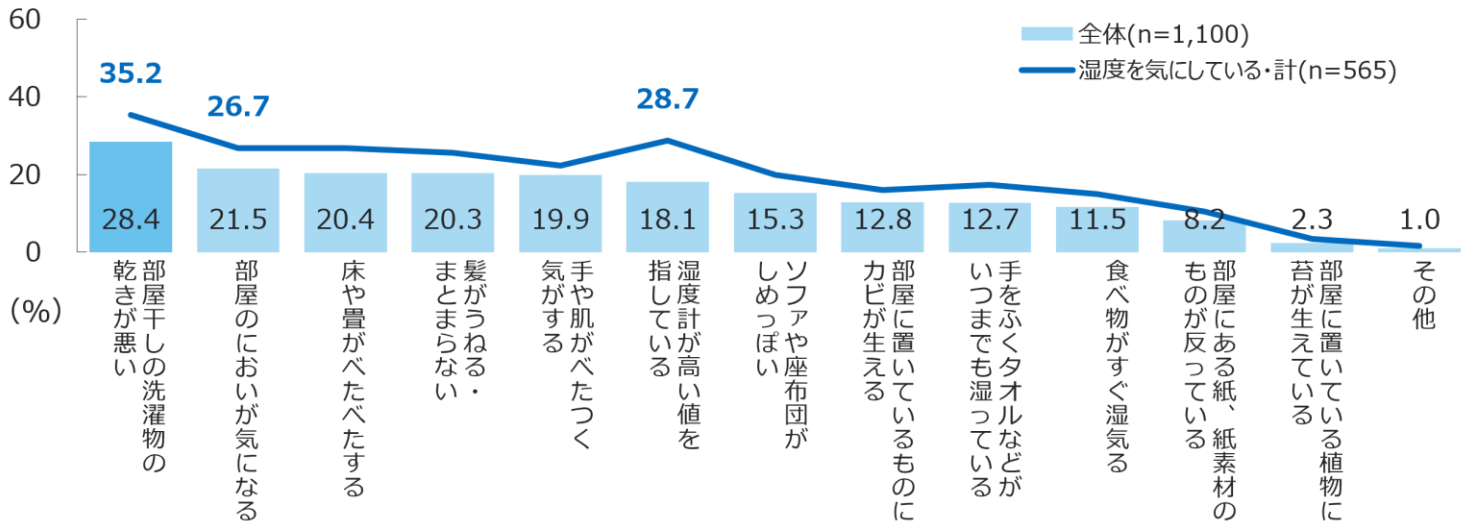
〈図1〉 自宅の湿度について（単一回答：n=1,100）



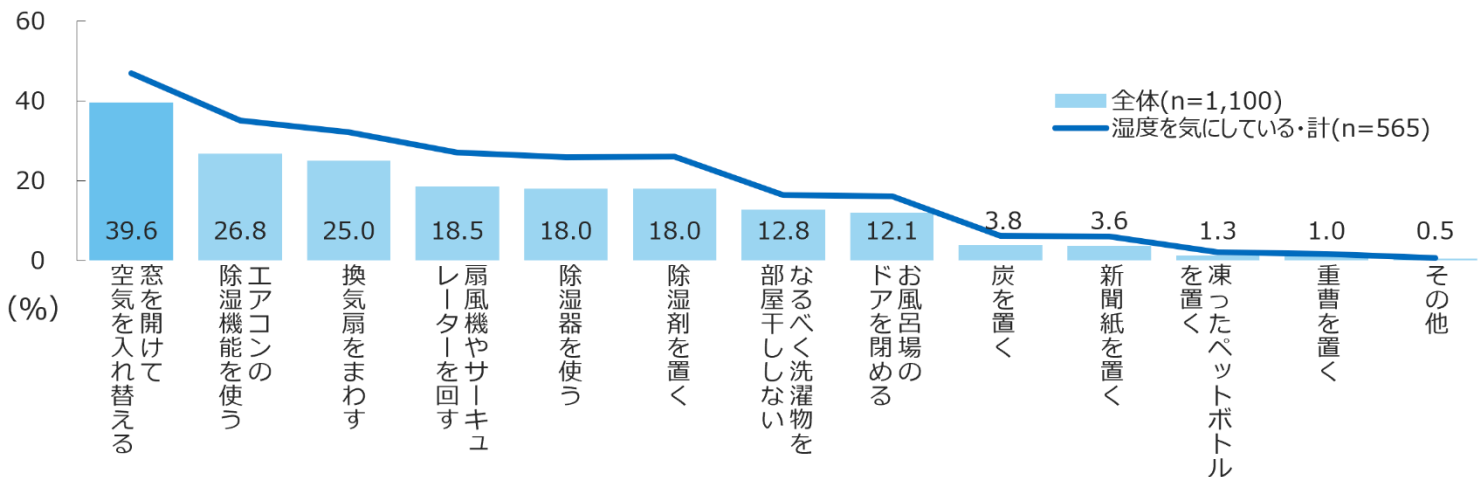
〈図2〉 住居形態別 自宅の湿度について（単一回答）



<図3> 自宅の湿度の高さを実感する瞬間（複数回答）



<図4> 部屋の湿度を下げるためにしていること（複数回答）



■ 調査項目

- 属性設問
- 昨今の状況下で、現在、あなたが「してもいい」と思う外出を伴う行動
- 普段、自宅の湿度をどの程度気にしているか
- 自宅の湿度の高さを実感する瞬間
- 部屋の湿度を下げるためにしていること
- 住居形態

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220511humidity>

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ（クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用）
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20～69歳の男女
 調査期間 : 2022年5月6日（金）～5月8日（日）
 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」

